

# 印西市国民健康保険運営協議会会議録

令和6年12月26日（木）

## 印西市国民健康保険運営協議会会議録

|         |                                                                                                                                                                                                               |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時     | 令和6年12月26日（木）午後1時30から午後2時52分                                                                                                                                                                                  |
| 場 所     | 印西市役所 大会議室                                                                                                                                                                                                    |
| 出 席 委 員 | 新田峰子委員、齊藤はるか委員、土屋英明委員、川村成章委員、村上和代委員、上條公司委員、篠田隆委員、藤澤一喜委員、山本和弘委員、福光正憲委員                                                                                                                                         |
| 欠 席 委 員 | 長尾穂子委員、笠井幸夫委員、津金澤俊和委員                                                                                                                                                                                         |
| 議 事     | <p>（１） 協議事項</p> <p>議題第1号 令和7年度印西市国民健康保険特別会計予算（案）について</p> <p>議題第2号 令和7年度印西市国民健康保険事業計画（案）について</p> <p>（２） 諮問事項</p> <p>諮問第1号 印西市国民健康保険出産費貸付基金条例を廃止する条例の制定について</p> <p>諮問第2号 印西市国民健康保険高額療養費貸付基金条例を廃止する条例の制定について</p> |
| そ の 他   | なし                                                                                                                                                                                                            |
| 傍 聴 人   | なし                                                                                                                                                                                                            |

### 1. 開 会

### 2. 市長挨拶

### 3. 議 事

#### （１） 協議事項

議題第1号 令和7年度印西市国民健康保険特別会計予算（案）について

事務局より説明後、質疑

質疑なし

議題第2号 令和7年度印西市国民健康保険事業計画（案）について

事務局より説明後、質疑

委 員 第三者行為は交通事故やけんかなどになると思うが、被害者本人が届出をしないといけないのか。

事 務 局 第三者行為の届出様式は被害者より届出をしていただくものとなっていますが、損害保険会社や医療機関等からも第三者行為の連絡が入ります。

委 員 けんか等は被害者からの届出しかないと思うし、届出漏れがありそうだが。届出が必要になることは周知しているのか。

事 務 局 第三者行為の制度自体知らない方もいると思いますので、広報いんざい

やホームページにおいて第三者行為については周知しております。

委 員 どのように求償しているのか。

事 務 局 第三者行為については、千葉県国民健康保険団体連合会に委託しておりまして、そちらで求償を行っております。

委 員 保険税の収入が減少している中で、保険税の引き上げをするのはいたしかたないと思うが、医療費の抑制を図っていった方がよいのでは。医療機関の先生方に助言をいただいたらいいのではないかと思うが、事業計画の中で医療費抑制につながる取組をされているのか。

事 務 局 第3期データヘルス計画の中で、個別の保健事業を示しておりまして、令和6年度から実施を図っているところです。

委 員 リフィル処方箋など、医療費抑制のための周知を行ってはどうか。

事 務 局 被保険者証の一斉更新の際や新規加入の際に配布している、国保制度のリーフレットにリフィル処方箋について記載し、周知を図っております。

委 員 重複・多剤服薬者指導事業は市が行うものなのか。病院や薬局との役割分担をしっかりと考えた方がいいのでは。

事 務 局 服薬情報通知は診療報酬明細書等のデータにより、重複・多剤服薬にある方に通知をしているもので、服薬に関して医療機関や調剤薬局に相談してみてもどうかといった内容のものになっています。被保険者の方に服薬情報通知を送付することで、自分がどれ程の量の薬を処方されているのかを認識していただくよう周知しています。また、処方された薬が自己管理できていない方の場合、市の保健師（委託会社）から連絡し、適正な管理ができるよう保健指導を行い、改善を図ります。

委 員 私は耳鼻科をやっているが、患者さんに他の医療機関での投薬状況を聞き取ったうえで、すでに別の内科や診療所でたくさん薬をもらっていたり、同類の投薬がされているときは処方を控える場合もある。その点でマイナ保険証を利用していただくと、服薬の履歴が確認できて適切な処方ができるので助かっている。

委 員 薬剤師の立場でお話をさせてもらおうと、マイナ保険証を使うと服薬情報はわかるようになるが、本人の同意がないと情報が確認できない。お薬手帳を提示してもらおう場合でも個人の持論で病院ごとにお薬手帳を作っている方もいる。そういう方は服薬状況がわからないので、お薬手帳を1冊にまとめる、かかりつけ薬局を作るといったことの周知を図っていただきたい。

事 務 局 服薬情報通知に「お薬手帳は1冊にまとめましょう」という文言を記載して周知を図っているところです。

委 員 薬の重複は薬剤師としてとても怖いので、皆さんにはどんどんマイナ保険証を使ってほしい思う。

委 員 私はこの会議に参加して初めて保険税に7割軽減や5割軽減があることを知った。保険税が約20億円で保険給付が約67億円ということで、保険

税の値上げが必要であることはわかる。令和 7 年度から保険税は改正することになるが、このことをもっと周知してみたらどうか。

事務局　今回議会で議決をいただきましたので、この後、市のホームページ等で周知を図ってまいりたいと考えています。

## (2) 諮問事項

諮問第 1 号　印西市国民健康保険出産費貸付基金条例を廃止する条例の制定について及び諮問第 2 号　印西市国民健康保険高額療養費貸付基金条例を廃止する条例の制定について

事務局より説明後、質疑

委員　いつから貸付がないのか。

事務局　出産費貸付基金については、平成 26 年度以降、高額療養費貸付基金については平成 25 年度以降から貸付実績がございません。

委員　近隣も廃止しているのか。

事務局　出産費貸付基金については、出産育児一時金を市が直接支払う直接支払制度が導入されて以降、他市町村も実績がないことから廃止する市町村が多くございます。高額療養費貸付基金については限度額適用認定証が普及し、高額療養費の現物給付化が進展してきたために、高額療養費の貸付の実績がありません。今後、マイナ保険証の利用も増えてくることにより、さらに貸付の必要性がなくなり、貸付基金を廃止する市町村は増えてくると思われます。

委員　市の出生数はどれくらいか。

事務局　市全体は確認していませんが、国保の被保険者では今年度の出生数は現時点で 36 人、決算時では例年 45 人程度となっています。

賛成多数により原案のとおり決定

委員　全体について何かお気づきの点はございますでしょうか。

委員　実施計画中の、納付相談の充実等の周知方法についてですが、私たち 30 代、40 代や若い世代は、市の広報やホームページなどはほとんど見ないので、もっと L I N E 等を使って周知を図ってはどうかと思う、みんなが利用する媒体で周知をした方が効果的ではないか。

事務局　ありがとうございます。ちょうど先月に税金の納期限について、11 月 30 日納期となるのは〇〇税第〇期分、〇〇税第〇期分、〇〇税第〇期分、と載せ始めたところです。ほかの市町村も L I N E を使っていろいろ情報発信をしていますので、印西市もこれから L I N E 等で情報発信をしていきたいと思います。

以上議事終了

#### 4. その他

事務局 事務局からよろしいでしょうか。まず、12月2日からマイナ保険証の制度に切り替わりました。現在は引き続き保険証が使える状況ですので、大きな混乱はありませんが、テレビなどで連日報道されていたので、利用率は上がっていくものと思います。12月の利用率はまだ出ていないのですが、11月時点で印西市の利用率は18.3%で、千葉県全体では19.6%となっています。全国の利用率ですが、被用者保険が16.7%、後期高齢者医療保険が14.9%、市町村国保が19.4%となっていますので、市町村国保の利用率が高い状況です。また、マイナ保険証解除申請は現在29件受付しました。主な理由は「マイナ保険証を利用したくない」「持ち歩きたくない」「これまでの紙の保険証が使いやすい」「施設に保険証を預けるため」といったものでした。もう一点は、毎年、12月末に税制改正大綱が決定され、例年この税制改正大綱に基づき、国民健康保険税についても改正が行われます。今回の内容は医療分1万円と支援分2万円の課税限度額の引き上げと5割軽減と2割軽減の軽減判定所得の改正が予定されています。単身世帯の例で申し上げますと、5割軽減となる判定所得が72万5,000円から73万5,000円に、2割軽減となる判定所得が97万5,000円から99万円に改正予定です。改正については年明けに書面で皆様にご意見を伺う予定でございますので、よろしくお願いいたします。

#### 5. 閉 会

印西市国民健康保険運営協議会  
会 長 篠田 隆